

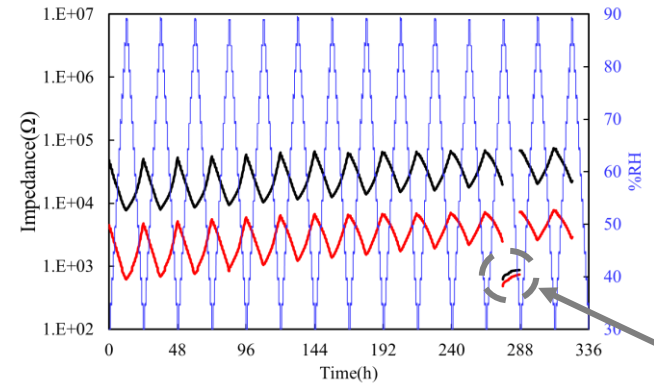
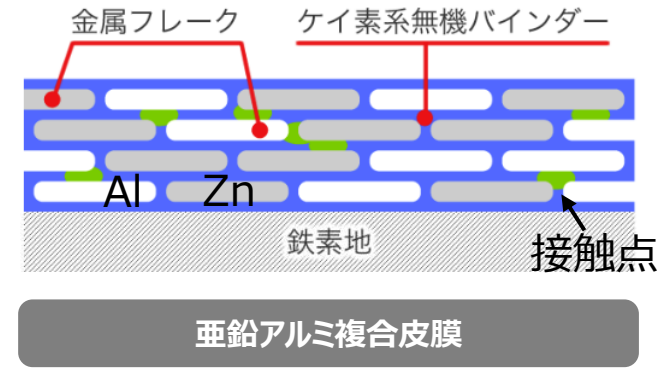
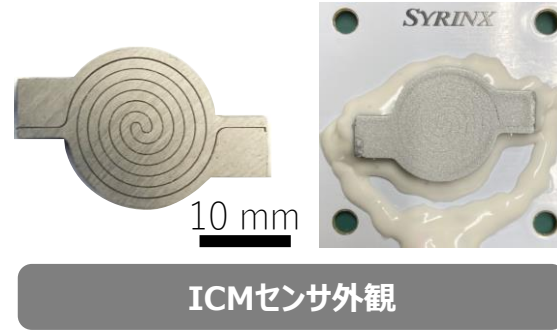
# ◆ Fe/Fe対ICMセンサによる亜鉛アルミ複合被膜の防錆挙動解析

## 概要

- ICMセンサによる亜鉛アルミ複合皮膜の防食寿命予測の可能性を示した。
- ICMセンサによって、膜質が評価できた。  
(金属フレークの接触, 塗膜容量)
- 膜厚が厚くなると防食挙動が変化することが判った。

塗装前

塗装後



- ・高湿度のインピーダンス値は徐々に増加  
⇒塩が亜鉛の腐食で消費され吸水量低下
- ・低湿度のインピーダンス値も徐々に増加  
⇒膨潤量が減少し接触抵抗が増加

一時的に金属フレーク同士が接触

厚膜(60μm) 塩付着-乾湿繰り返し時のインピーダンス特性